

現代の小学生の道徳的・法的発達について考える（Ⅱ） —児童の発達を踏まえた法教育プログラムの開発—

本シンポジウムの目的は、児童の法的発達に関する調査結果を明らかにすること、また、児童の法的発達を促す法教育授業を提案することにある。本シンポジウムでは、まず、昨年度我々の研究グループが報告した小学校2年生・4年生・6年生を対象とした「民主主義」観に関する調査について、対象校を拡大して分析した結果について報告する。その分析結果を踏まえて、児童の発達を促す法教育プログラムについて、「権威」「少数者の尊重」「抵抗（権）」をテーマに据えて提案する。児童の発達について考えるせっかくの機会であることから、児童の「公正」概念の発達に関する研究の第一人者であり、児童の社会性の発達について多数の御著書がある有力な研究者のご講演や、授業開発（社会科教育学）研究者の意見陳述、また、調査対象校の先生方も交え、意見を交換することで、我々の研究成果について建設的に議論できる場を作ればと考えている。ご関心のある方は是非ご参加頂ければ幸いである。

日時：2015年3月7日（土） 12:30 開場 13:00～16:30
場所：千代田区立 日比谷図書文化館 スタジオプラス（〒100-0012 千代田区日比谷公園1番4号
日比谷公園内 日比谷公会堂北 <http://hibiyal.jp/hibiya/about.html>）

司会 筑波大学教授・弁護士 根本信義

12:30～ 開場・受付

13:00～14:00 講演 「子どもにとって公正とは？—認識、感情、そして行動面まで—」

法政大学文学部 教授 渡辺弥生

14:00～15:10 研究成果報告

福井大学教育地域科学部 准教授 橋本康弘

岡山県立大学保健福祉学部 講師 樟本千里

川崎医療短期大学 教授 中原朋生

広島文化学園大学学芸学部 教授 二階堂年恵

岐阜大学教育学部 准教授 須本良夫

静岡大学教育学部 教授 磯山恭子

岡山大学教育学部 教授 桑原敏典

東京学芸大学 准教授 渡部竜也

15:10～15:20 休憩

15:20～15:40 指定討論者による意見陳述

国立教育政策研究所 初等中等教育研究部長 大杉昭英

法政大学文学部 教授 渡辺弥生

15:40～16:20 質疑応答・討論（調査対象校の先生方も交えて）

16:20～16:30 まとめ 京都大学大学院法学研究科 教授 土井真一

定員：50名（事前申し込み必要）

参加料：無料

主催 法に関する教育教材開発研究会

後援 法と教育学会

申込先・問い合わせ先：福井大学教育地域科学部 橋本康弘

〒910-8507 福井市文京3-9-1 福井大学教育地域科学部社会系教育講座

E-Mail phasimot@u-fukui.ac.jp（★を@に変えてください） TEL/FAX(0776)27-8449

※本シンポジウムは、科学研究費補助金基盤研究（B）一般 研究課題：法・心理・教育研究者の協同による小学生の発達段階に対応する法教育プログラム開発 を受け、実施するものです。